

道下美里選手トークショー



道下選手の力強い言葉と笑顔が光る！
ブラインドマラソンや「チーム道下」の存在を語る

レース後には、ゲストランナーの道下美里選手（三井住友海上）を迎え、西部公民館でトークショーが開催されました。道下選手は、自身の競技経験やパラリンピックでの思い出を語り、参加者からは多くの質問が飛び交いました。道下選手の「まずは、自己記録の更新を目指したいが、80歳になっても走り続けたいという大きな目標がある」という力強い言葉と笑顔は、参加者に勇気を与え、会場をさらに盛り上げてくれました。

また、道下選手を支えるのが「チーム道下」の一員で、伴走者の田嶋優気さん（日産自動車九州）。競技者と伴走者を繋ぐ長さ50センチのロープを用いて、伴走体験も行われました。田嶋さんは「道下選手を輝かせるために、責任感を持ち笑顔を共有できるように伴走している」と語りました。



展示されたメダルやユニフォーム

道下選手プロフィール
山口県下関市出身。中学生で右目の視力を失い、左目の視力もわずか。走り始めたきっかけはダイエットで、26歳から通い始めた盲学校で先生や仲間に出会い、ブラインドマラソンを始めた。パラリンピックに3度出場（リオデジャネイロ・東京・パリ）。



ふれあいマラソン大会 各部門優勝者（敬称略）

部門	優勝者（タイム）
1km 親子の部	山中 道真・山中 嵐太（3分40秒）
2km 小学3・4年男子	南 寛馬（7分20秒）
2km 小学5・6年男子	山口 仁人（6分23秒）
2km 小学3・4年女子	岩城 遥香（7分36秒）
2km 小学5・6年女子	酒見 志優（7分14秒）
3km 中学生男子	山田 琉貴（9分28秒）

部門	優勝者（タイム）
3km中学生女子	加藤 瑠衣（11分05秒）
3km 60歳以上男女	大塚 陽三（11分59秒）
5km中学生男子	木村 太郎（16分26秒）
5km一般男子	黒田 縁（16分31秒）
5km一般女子	樋田 奈々（24分32秒）
10mile一般男子	奥田 悠斗（57分36秒）
10mile一般女子	福島 弥生（60分51秒）

苅田町民ふれあいマラソン大会

「苅田町合併70周年記念 第39回苅田町民ふれあいマラソン大会」が、3月2日に白川・片島地区で開催されました。今回は、ゲストランナーとして、パラリンピック3大会連続入賞、女子T12クラス（重度弱視）の世界記録樹立など、輝かしい実績を持つ道下美里選手をお迎えしました。当日はあいにくの雨模様の中、600人を超えるランナーが、自然豊かなコースを駆け抜けました。コースは、1km、2km、3km、5km、10マイルの5つに分かれ、西部公民館前からスタート。参加ランナーは、家族や友人の声援を受け、それぞれの目標に向かってゴールを目指し走りました。レース後には、しじが振る舞われ、参加者は冷えた体を温めていました。

本大会は、地域住民の皆さまの温かいご支援や協賛金及び人的支援をしていただいたプロテリアルグループ、また日産自動車九州のご協力もあり無事開催することができました。苅田町の豊かな自然の中で、地域全体を活気づけるイベントとなりました。